

けいそう

ファームコート外装

施工要領書

適応下地

1 外装の場合

- **セメントモルタル** …… 木鏝をかけたあと金鏝で表面を平らにしたもの。
- 強度低下の著しいモルタルやその表面が平滑でない場合は、再度モルタルで全面補強してください。
- 吸水の激しいモルタル下地(既調合モルタルなど)については、「ex.シーラー」(別売)で全面シーラー処理を行ってください。
- **古い外壁面** …… 「SKカチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、施工してください。
※シリコン系、フッ素系塗膜面等の撥水処理下地、弾性系下地には施工できません。
- **ブロック塀** …… 「ブロックプラスター」(別売)で全面処理後、施工してください。
※新設ブロックで段違いがなく、目地部を目地セメントで平滑に仕上げたものは、「ex.シーラー」(別売)で全面シーラー処理後に施工を行ってください。

下地に関する注意事項

- ※上端(天端)に施工を行うには、「けいそうファームコート外装」塗布乾燥後、壁面を含む全面に「スーパートップコート」(別売)の塗布が必要です。
- ※巾木(基礎)には施工しないでください。

2 内装の場合

- **セメントモルタル** ● **ボード用石膏プラスター**
- **石膏ボード** …… (SK簡易工法)または、(SK工法)に準じて下地処理したもの。
※詳細については、別途見本帳、総合カタログをご覧ください。

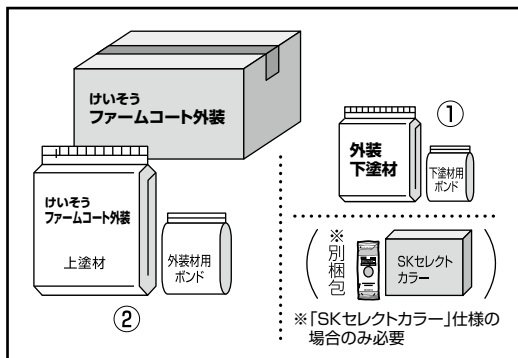
梱包単位

※施工前に梱包内容を確認してください。

1 ケース:3.3㎡用

2 セット内容

①下塗材	基材 1,800g/袋 外装材用ボンド 500g/袋
②上塗材	基材 15,000g/袋 外装材用ボンド 1,500g/袋



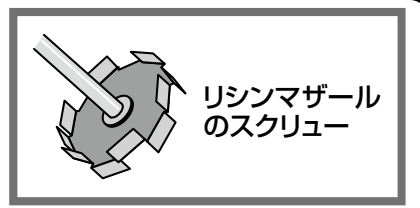
注意

- 通常、501~506(506+501等を含む)は、「SKセレクトカラー」無しで施工できます。
- 白基材501に「SKセレクトカラー」(別売)を混ぜることで様々な色をつくることもできます。
- 「下塗材」及び「上塗材」の粉体原料と液体原料は、セットされた同一銘柄のものを使用してください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高い場所、高温(40℃以上)、または低温(0℃以下)の保管は避けてください。

施工方法

準備する道具

- シーラー塗布用容器
- ウールローラー
- 刷毛
- 円形ステンレス容器、または、円形プラスチック容器
(下塗材18ℓ程度、上塗材30ℓ以上)
- ステンレスの塗り付け鏝
- ステンレスの仕上げ鏝(0.2~0.3mm厚)
- リシンマザール(右のイラストの様な羽根を使用)
- 霧吹き器



1 下地の清掃及び補修

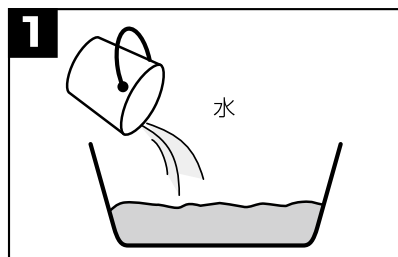
- セメントモルタル** …… 木鏝をかけたあと金鏝で表面を平らにしたもの。
- 強度低下の著しいモルタルやその表面が平滑でない場合は、再度モルタルで全面補強が必要です。
- 吸水が激しい場合は、「ex.シーラー」(別売)を塗布してください。
- 古い外壁面** …… 水性タイプの吹付けリシンなどで強度のあるもの
- ワイヤーブラシや高圧洗浄機により、チリ・ホコリ、汚れなどを除去して清掃してください。この際、活膜は残して、劣化塗膜は除去してください。モルタル下地のひび割れは、アクリル系、変性シリコン系、樹脂セメント系充填材による補修を行います。
- ※強度のある溶剤系、ペイント下地などには、「SKカチオンプラスター弾性タイプ」(別売)で全面下地処理後、「けいそうファームコート外装」を施工してください。
- ブロック塀**
 - 既設ブロック**
ワイヤーブラシや高圧洗浄機により、チリ・ホコリ、汚れ、バリなどを除去して清掃してください。ブロックの目地部のひび割れは、目地材をたがねや金づちなどで取り除き、その部分にモルタルを埋め込んで補修を行います。
 - 新設ブロック**
「ブロックプラスター」(別売)で全面処理後、施工してください。

注意事項

- ※下地にエフロレッセンスやレイタンス、ドライアウト、ひび割れ、剥がれがある場合は事前補修が必要です。
- ※下地に汚れ、ほこり等が付着している場合は、ワイヤーブラシ、タワシ、スチールタワシ、ホウキなどを用いて落とし洗浄してください。

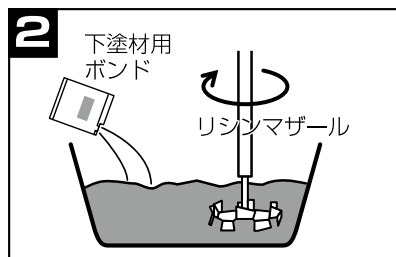
2 外装下塗材の塗布

練り方

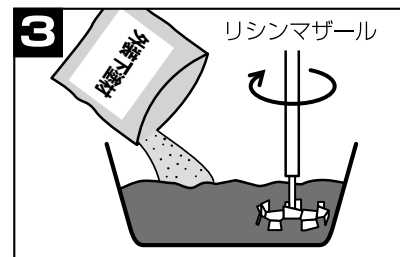


外装下塗材/標準加水量:
0.9ℓ/1袋(3.3㎡)

容器(錆のでない物)に標準加水量の8割(約0.7ℓ)の水を入れます。



「下塗材用ボンド」を加え、リシンマザールを使用して、よくかき混ぜます。



次に「外装下塗材」を加え、リシンマザールを使用してママコがなくなるまでよく練り上げた後、20分ほど練り置きし、下地の状況により残り水を加えて、よく練り上げます。

※水の入れ過ぎは塗り面がダレますので注意してください。

※同一面での塗り継ぎは色ムラの原因となりますので、必要な塗材は一度に混練りします。

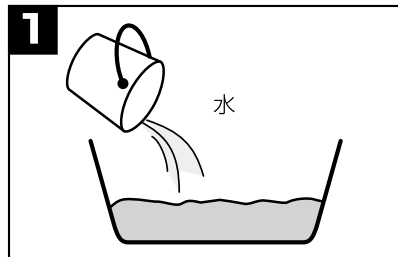
※練り上げた材料は、早めに使いきってください。

塗り方

下地を十分に乾燥後、「外装下塗材」をステンレス鏝で均一に塗り付けます。

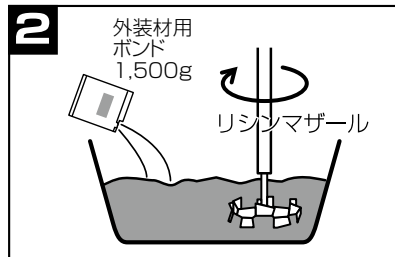
③ 上塗材の塗布

■ 練り方 / 単色の場合 (3.3㎡)



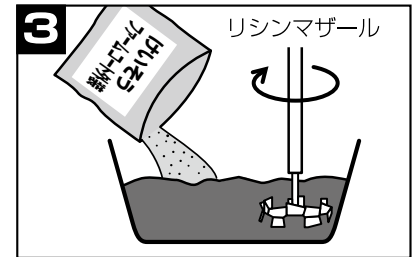
上塗材/標準加水量:
2.2ℓ/1袋(3.3㎡)

容器(錆のでない物)に標準加水量の8割(約1.8ℓ)の水を入れます。



「外装材用ボンド1,500g」を加え、リシンマザールを使用して、よくかき混ぜます。

※白基材No.501で色を付ける場合には、「SKセレクトカラー」(別売)を混合してください。



次に「上塗材」を加え、リシンマザールを使用して、軽く練り上げた後、20分ほど練り置きし、下地の状況により残り水を加えて、よく練り上げます。

※水の入れ過ぎは塗り面がダレますので注意してください。

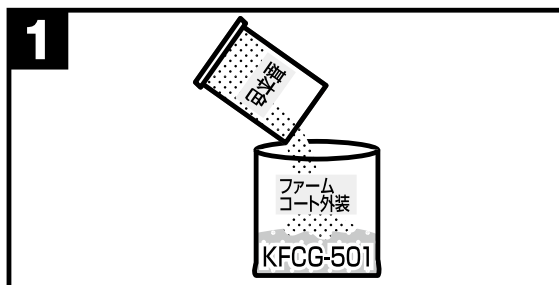
※同一面での塗り継ぎは色ムラの原因となりますので、必要な塗材は一度に混練りします。

※練り上げた材料は、早めに使いきってください。(可使時間は5時間です。)

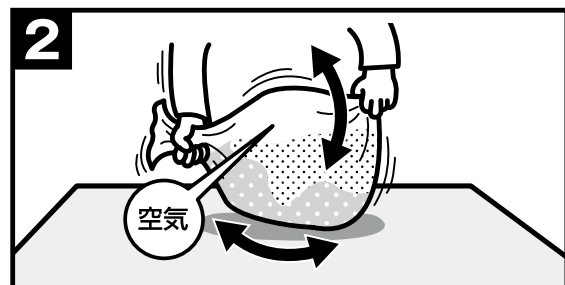
■ 練り方 / 混合色の場合 (6.6㎡)

●白色…KFCG-501

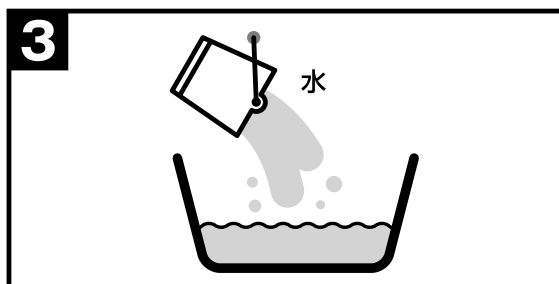
●基本色…KFCG-502~506



●白色(KFCG-501) - 1袋(3.3㎡)を開封し、その中に基本色(KFCG-502~506) - 1袋(3.3㎡)を投入します。

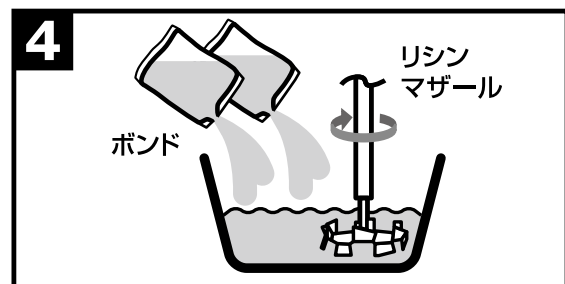


●空気を入れ、袋を脹らませて十分に空合せを行います。

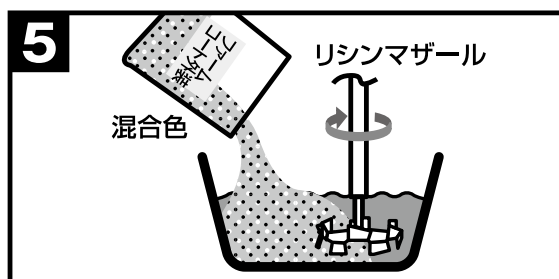


ファームコート外装/標準加水量:4.4ℓ/6.6㎡(2袋分)

●容器(錆のでない物)に標準加水量の8割(約3.5ℓ)の水を入れます。



●添付の「ボンド」×2袋を加え、リシンマザールを使用してよくかき混ぜます。



●次に空合せした「上塗材」を加え、リシンマザールを使用して軽く練り上げた後、20分ほど練り置きし、下地の状況により残り水を加えて、よく練り上げます。

※水の入れ過ぎは塗り面がダレますので注意してください。

※同一面での塗り継ぎは色ムラの原因となりますので、必要な塗材は一度に混練りします。

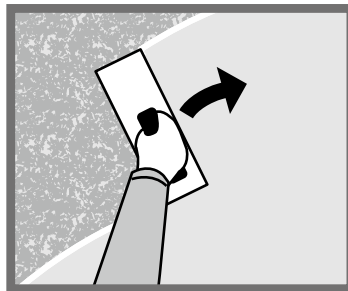
※練り上げた材料は、早めに使いきってください。(可使時間は5時間です。)

●混合色の空合わせは、白色(KFCG-501) - 1袋(3.3㎡)と基本色(KFCG-502-506) - 1袋(3.3㎡)の6.6㎡分による混合を基本とします。

●袋単位以下の少量での混合は、各材料の過不足による色違いが発生しますので必ずハカリによる正確な計量を行ってください。

■ 塗り方

- 先に塗り付けた「外装下塗材」が乾燥後、ステンレス鍍で塗材の玉石の厚みで、均一に塗り付けてください。
- 模様付けは、上塗材を塗り付け後、直ちに行います。



上塗り施工の注意

■ 塗り付けが厚塗り(5mm以上)になった場合

下地の状態により塗り厚が4mm程度になる場合がありますが、問題はありません。
5mmを超える塗り厚になると、乾燥時間が極端に長くなります。
またひび割れや剥離の可能性がありますので、注意してください。

■ 模様付けがとがった仕上がりになった場合

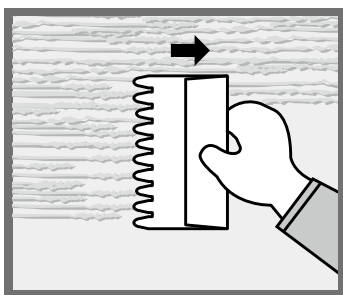
模様付けによりとがった状態になった場合、塗り面の強度も弱くなり、強い衝撃によっては塗り面が欠ける可能性がありますので、注意してください。

模様の付け方

■ 模様付けは上塗材を塗り付けた後、表面水が引かないうちに直ちに行ってください。

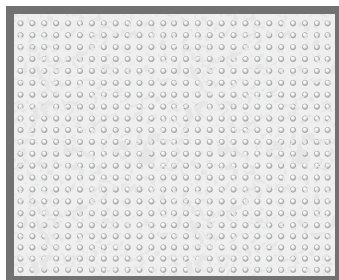
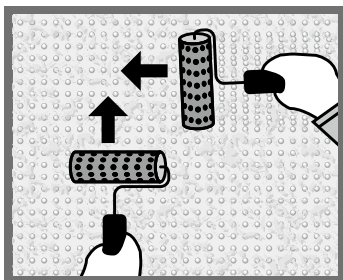
- ※塗り面の水引き及び乾燥が早い場合には、塗り面に軽く霧吹きをしながら模様付けを行ってください。
- ※表面乾燥後の模様付けはできません。特に夏期の施工には注意してください。
- ※塗り付けと模様付けは2人で分担して行うと仕事がはかどります。
- ※入隅や出隅の仕上げは、模様付け後に面引き鍍で面取り仕上げすることも可能です。
- ※模様付けの際、鍍、刷毛、専用のパターンカートリッジ、ローラーに付着する塗材は水で洗い流し、よく水を切ってお使いください。

ウェーブ仕上げ



専用のパターンカートリッジ(別売)で、30～40cm位の長さで掃くような感じで2～3度繰り返しながら模様を付けます。
(パターンカートリッジには細目・粗目があります。)

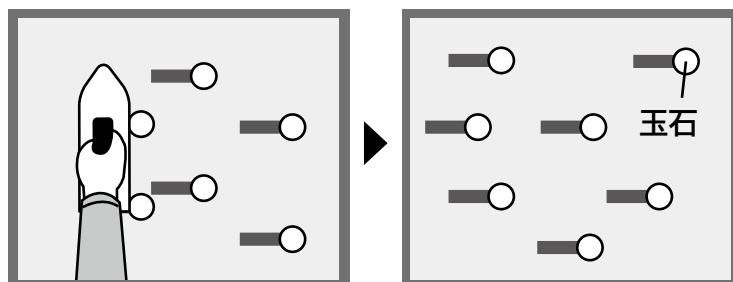
くばりローラー仕上げ



鍍で平滑に仕上げ、すぐにくばりローラーで縦、横、ていねいに模様を付けます。

※ローラーは塗料店などで、市販品を購入してください。

荒壁仕上げ



鏝で塗材の玉石の厚みで均一に塗り付けてください。
(玉石が転がるように仕上げます。)

施工上の注意

- 「下塗材」と「上塗材」が有り、それぞれ専用のボンドが添付されていますので間違いのないようご使用下さい。
- 外装施工の場合、美しい模様付けを行うために1.8mピッチを目安に見切りを入れる事を推奨します。
- 下地は平らに仕上げ、十分乾燥させてください。
- 上塗材は下塗材を十分に乾燥させてから塗布してください。
- 釘などで錆の恐れがある箇所には錆止めを施してください。
- 乾燥しきらないうちに雨に当てないでください。降雨の恐れがある場合には、必ずブルーシートなどで養生を行い、塗面に雨がかからないように注意してください。
- 乾燥は夏期一昼夜、冬期二昼夜を目安としますが、気象条件、塗り厚等によってはそれ以上の乾燥養生を行ってください。
- 夏期、下地が焼けるような高温状態の時は、下地に微量の水打ちをしたり日除けをしたりして、急激な乾燥を避けてください。また直射日光を避けて作業を行ってください。
- 混練りした材料の長時間放置は避け、使用器具は早めに水洗いしてください。
- 作業中、チリ廻りやアルミサッシに付着した塗材は、早めに水洗いしてください。
- 内装施工でアク、シミの発生しそうな下地には、「ジュラックス シーラーB」(別売)を塗布するか、「スーパーカーボンプラスター」(別売)を中塗りしてください。
- 内装施工の石膏プラスター下地で表面がドライアウトしているときは、強固な下地にやり直してください。
- 強度がない下地は、剥離の原因となりますので塗り直してください。
- 5℃以下での施工は避けてください。
- 施工後、気温0℃以下になる恐れがある場合は施工を避けてください。
- チリ廻りは、養生してください。
- 粉体原料と液体原料はセットされた同一銘柄のものを使用してください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の高い所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)での保管は避けてください。
- 本品は天然土、砂が主原料ですので、ロットによる多少の色違いはご容赦ください。
- 混合色の空合せは、No.501の1袋(3.3㎡分)と各基準色1袋(3.3㎡分)の6.6㎡による混合を基本とします。袋単位以下の小単位での混合は、各材料の過不足による色違いが発生しますので必ずハカリによる正確な計量を行ってください。
- 本品は天然のわらすさを使用していますので、アルカリ下地の場合はシミが発生することがあります。特にNo.501などの薄い色についてはご注意ください。

その他

- 安全に関する注意事項については、包材の裏面、安全データシート(SDS)をご確認ください。

ご不明な点がございましたら、詳細は包材の裏面に記載してありますので、ご覧ください。